

お知らせ NEW

平成25年度市職員募集

受験案内配布場所

総務課・支所・出張所

※市ホームページからもダウンロードできます。

1次試験日 10月14日(日)

受付期限 9月20日(木) ※必着

受付場所

市役所2階総務課人事係

試験会場 竹原市民館会議室

問い合わせ

総務課人事係

☎ 22-7719

職種	採用予定人数	受験資格	試験内容
一般事務職	2名程度	昭和60年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人	○一般教養試験(高卒程度)【全職種】 ○作文【全職種】 ○専門試験【一般事務職(学芸員)、技術職(土木技師)、保育士、保育士(保育士経験者)】
一般事務職(文化・スポーツ枠)	1名程度	昭和60年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人で、文化芸術・学術、スポーツにおいて全国大会・全国コンクール等での入賞の実績・成果を収め、現在もその活動を継続している人(中学校以前の実績・成果は含まない。)	
一般事務職(学芸員枠)	1名程度	昭和52年4月2日以降に生まれた人で、次のすべてに該当する人 (1) 大学又は大学院において、歴史、芸術又は民俗に関する専門課程を修得した人または平成25年3月31日までに修得見込みの人 (2) 博物館法に定める学芸員の資格を有する人または平成25年3月31日までに取得見込みの人	
技術職(土木技師)	1名程度	昭和52年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人	
保育士	3名程度	昭和52年4月2日以降に生まれた人で、保育士の資格を有する人または平成25年3月31日までに取得見込みの人	
保育士(保育士経験者)	1名程度	昭和40年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた人で保育士の資格を有し、保育士としての実務経験が平成25年3月31日時点で10年以上ある人	

就業構造基本調査

国民の就業状況についての統計調査を、全国一斉に実施します。雇用・経済政策などに必要な調査ですので、ご協力をお願いします。

調査期日 10月1日(月)

調査対象 無作為に選定した市内約120世帯の15歳以上の人

調査方法

9月下旬から調査員が調査対象の世帯を訪問し、調査票を配付します。

※調査票の記入内容は、法律によって厳重に保護されます。

問い合わせ

☎ 22-7719
総務課行政係



ポリオワクチンの予防接種方法などが変更されました

9月1日から、定期予防接種における生ポリオワクチンは中止され、不活化ポリオワクチンが導入されました。

対象 市内に住所がある3か月～90か月の乳幼児 費用 無料

接種方法 不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日以上の間隔をおいて3回、追加接種として初回接種終了後6か月以上の間隔をおいて1回、合計4回の接種が必要です。平成24年9月1日現在、4回目の追加接種は定期接種対象外です(国内臨床試験実施中のため、データが整い次第導入予定)。

ポリオワクチンをまだ1回も受けていない

↓
不活化ポリオワクチンを合計4回受けてください

生ポリオワクチンを既に1回受けている

↓
不活化ワクチンをあと3回受けてください

不活化ポリオワクチンを1～3回受けている

↓
不活化ワクチンが合計4回となるよう残りの回数を受けてください

生ポリオワクチンを既に2回受けている

↓
不活化ワクチンを受ける必要はありません

※ポリオ定期接種未完了児には、8月下旬に接種券・予診票などを個人通知しています。転入等で通知がない人は、ご連絡ください。

接種医療機関 県内の広域予防接種受託医療機関

竹原市内の実施医療機関 浅野内科医院、井口耳鼻咽喉科眼科医院、円山医院、大貫内科医院、おぎ皮膚科アレルギー科クリニック、中島内科クリニック、馬場病院、山下産婦人科内科医院、米田小児科医院

持参するもの 母子健康手帳、予防接種券、予診票(保護者以外の方が同伴する場合には、委任状)

問い合わせ 保健センター ☎ 22-7157



台風災害に 備えましょう

9月は、台風による被害が最も発生しやすいシーズンです。これまで以上に洪水や土砂災害、高潮による被害が心配されます。台風に関する情報は、事前にテレビやラジオなどから得ることが出来ます。

台風が近づいてきても、あわてず対処できるように、日ごろからの備えと点検を心がけて、被害を最小限に抑えましょう。

早めの行動で被害を 最小限に

◆気象・防災情報にご注意を

大雨や洪水などの警報・注意報は市町ごとに発表されており、雨量情報や河川水位などの防災情報はインターネットや電話、メール配信でも入手することが出来ます。

こうした災害に関する正しい情報を入手し、適切な行動をとることが重要です。

◆早めの避難を

市からの避難勧告・避難指示があったときや、雨の降り方や周りの状況に身の危険を感じたときは、安全な経路で避難場所へすぐに避難してください。天候が荒れてからは、移動も困難となります。特にお年寄りや子どものいる家庭は、早い段階から避難するようにしましょう。

普段から万全の対策を

市では、関係機関と連携して災害に対応しています。より一層の被害の軽減を図るためには、市の防災対策だけでなく、市民のみなさんによる防災活動が不可欠です。

日頃から災害に対する心がけをもって、台風シーズンに備えましょう。

◆家族で防災の話

日頃から家族で高潮・洪水ハザードマップなどを活用して危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておきましょう。

◆いざというときのために

市や自主防災組織などで行う防災訓練に参加しましょう。

また、緊急時に備えて、貴重品・非常用食品・飲料水・懐中電灯・ラジオなどの避難用品を準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

◆環境整理をしましょう

側溝や用水路にごみが詰まっていないか、強風で飛ばされそうなものがないか事前に確認しておきましょう。

テレビ・ラジオ・インターネットなどで 大雨、台風などの情報を確認しましょう

広島県防災ウェブ

気象情報・土砂災害や洪水の危険箇所図など

(パソコン) <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/>

(携帯電話) <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/mobile/>

竹原市ホームページ

緊急避難場所や高潮・洪水ハザードマップなど

<http://www.city.takehara.hiroshima.jp/soumu/>

[bousai/bousai_m.jsp](http://www.bousai/bousai_m.jsp)

雨量・河川水位情報

☎ 082-288-3050 (自動音声)

広島県防災情報メール通知サービスの登録

気象情報や雨量、水位などの情報

<http://www.bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp>

<http://www.bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp/kikikanri/pc>

(音声読み上げソフトに対応)

家族で学ぶ防災教室

いろいろな体験やクイズで、いざというとき役立つ知識を身につけよう！

日時 10月28日(日) 13時～16時

対象 3年生以上の小学生とその家族

場所 バンブー体育館

参加費 無料

申し込み・問い合わせ

10月14日(日)までにFAX、Eメールまたは郵送などで、広島県危機管理課(☎082-513-2785)へ申し込んでください。

※定員になり次第、締め切ります。

